

## A-1 情報処理センターの利用方法

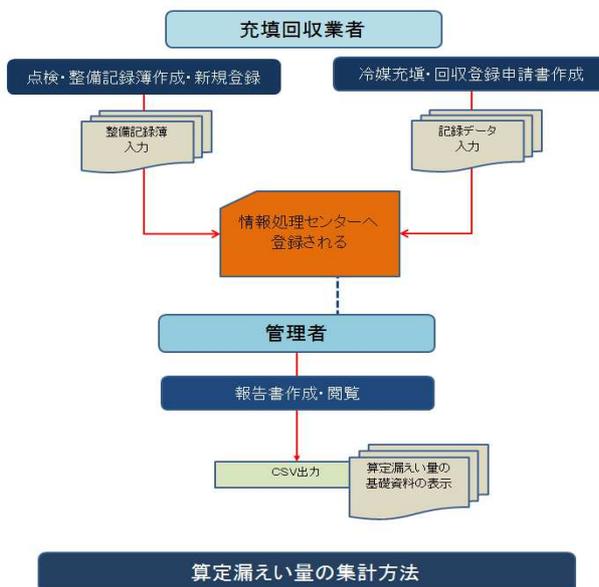
一般財団法人 日本冷媒・環境保全機構(JRECO)のホームページより直接、情報処理センターへ入力することが出来ます。このデータも算定漏えい量の集計に反映されます。



情報処理センターを利用して充填量・回収量を入力する方法は、機器整備記録簿(ログブック)の入力から自動で登録する方法と、ログブックを利用せず直接センターへ登録する場合の2通りがあります。



管理者が「報告書作成・閲覧」ボタンからPDF形式の表を作成します。これを基に算定漏えい量報告のデータを出力します。算定漏えい量は、「ログブック新規作成・追加登録」から入力したデータと左の「申請書作成」からのデータも合算されて作成されます。



## 1. ログブックを利用して作成する方法(データは情報処理センターへ登録されます)

機器管理番号取得・入力方法 一覧へ戻る

機器番号発行形式を選択してください。

**管理番号入力**

購入したシールの機器管理番号  
又は、すでに登録採番された  
機器管理番号を入力

**新規取得(自動採番)**

ログブックを登録した後に、システムが  
機器管理番号を自動採番します。

機器番号シールを購入した方は、左の「機器管理番号入力」よりシールの機器番号を入力して登録します。

冷媒充填点検・整備記録簿 〇〇〇〇年〇月〇日 ~ 〇〇〇〇年〇月〇日

※2: 機器の名称・設備の種類、第一種・第二種冷媒の種類、冷媒の充填場所を正確に採番する必要があります。2,3は0の数字の4桁です。  
※3: 冷媒の充填・回収は必ず行い、記録簿に記載する必要があります。

1. 第一種特定製品の管理番号・施設・製品情報

<input type="radio"/> 新規登録	<input type="radio"/> 既存の記録簿	事業者 〇〇〇	設備名称 〇〇〇	設備管理番号 〇〇〇〇〇〇〇〇
機器所有者 〇〇〇〇〇〇〇〇	機器の所在地 〒〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇	機器の名称 〇〇〇	機器の型式 〇〇〇	機器の製造年 〇〇
機器の所在地 〒〇〇〇 〇〇〇〇	機器の所在地 〒〇〇〇 〇〇〇〇	機器の型式 〇〇〇	機器の型式 〇〇〇	機器の型式 〇〇〇
代表者 〇〇〇	代表者 〇〇〇	代表者 〇〇〇	代表者 〇〇〇	代表者 〇〇〇

2. 冷媒の充填・回収・回収

作業年月日	点検・整備区分	充填量 kg	回収量 kg	回収率 %																
〇〇〇	〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇

3. 冷媒の充填・回収状況

4. 点検・整備・回収

## 2. 情報処理センターへ直接登録する方法

「冷媒充填・回収登録申請書作成」を開いてして行います。

充填・回収登録申請書

登録一覧

申請書作成

点検・整備記録簿(ログブック)

ログブック一覧

ログブック新規作成・追加登録

冷媒充填・回収登録

〇〇〇〇年〇月〇日 ~ 〇〇〇〇年〇月〇日

1. 第一種特定製品の管理番号・施設・製品情報

<input type="radio"/> 新規登録	<input type="radio"/> 既存の記録簿	事業者 〇〇〇	設備名称 〇〇〇	設備管理番号 〇〇〇〇〇〇〇〇
機器所有者 〇〇〇〇〇〇〇〇	機器の所在地 〒〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇	機器の名称 〇〇〇	機器の型式 〇〇〇	機器の製造年 〇〇
機器の所在地 〒〇〇〇 〇〇〇〇	機器の所在地 〒〇〇〇 〇〇〇〇	機器の型式 〇〇〇	機器の型式 〇〇〇	機器の型式 〇〇〇
代表者 〇〇〇	代表者 〇〇〇	代表者 〇〇〇	代表者 〇〇〇	代表者 〇〇〇

2. 冷媒の充填・回収・回収

作業年月日	点検・整備区分	充填量 kg	回収量 kg	回収率 %															
〇〇〇	〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇	〇.〇〇

3. 冷媒の充填・回収状況

4. 点検・整備・回収

### 3. 算定漏えい量の集計方法

統括部署の管理者が冷媒管理システムを開き、「報告書作成・閲覧」からPDFを選択して作成します。

下図のPDFは、国への報告書として利用出来ます。



報告書

管理者は、充填回収業者により情報処理センターに登録されたデータを利用し、算定漏えい量報告に必要な情報の集計・抽出が可能となります。

1. CSVデータ出力  
2. 全社、統括部、事業所で漏えい量を算出したPDF出力  
3. 国の報告書作成支援ツールへ適合したデータ出力

年度を選択後、報告書を作成してください

種類  算定漏えい量報告書  報告書作成支援ツール

対象年

出力方法  CSV  PDF



#### フロン類算定漏えい量の報告書

平成28年 6月 6日

(郵便番号) 100-0001  
住 所 東京都千代田区千代田  
氏 名 目黒スーパー本社(株)  
電話番号 03-1111-2222  
事業所コード Y894982692

特定漏えい者のフロン類算定漏えい量 (合計はページ全体の合計となっております。)

漏えい年度 平成27年度

フロン類の種類	①R410A		②R404A		③R407C		④		⑤		合計
	算定漏えい量 (t-Co2)	実漏えい量 (kg)									
特定漏えい者全体	54	26	0	0	65	37	0	0	0	0	119
都道府県	算定漏えい量 (t-Co2)	実漏えい量 (kg)	算定漏えい量 (t-Co2)								
1. 東京都	54	26	0	0	21	12					75
2. 神奈川県					44	25					44
3.											
4.											